

展覧会開催のお知らせ

2012年11月1日

中村 亮一展

- The world has begun to quietly say, "No" -
会期:2012年12月1日(土)~26日(水)

現代美術作家の表現の場である LIXIL ギャラリーの現代美術個展ギャラリーでは、12月1日(土)~12月26日(水)の期間、「中村 亮一展 - The world has begun to quietly say, "No" -」を開催します。中村 亮一の作品は心象風景を描いた油彩画です。キャンバスには数字や吹き出し、鮮やかな色彩、複数の情景が混在して描かれ、混沌とした社会を生きる若い作家のシャープな視点が観る者を惹きつけます。本展覧会では、東日本大震災での体験から描いた「3.11」シリーズの新作4点の発表を中心に6点で構成した展示を行います。



作品名: The world has begun to quietly say, "No"

2011 Oil on roll canvas 2100 x 6000mm

開催概要

「中村 亮一展 - The world has begun to quietly say, "No" -」

会 期 2012年12月1日(土)~26日(水)

アーティスト・トーク 日時:12月1日(土)18:00~19:00

休 館 日 日祝日

開館時間 10:00 AM~6:00 PM

企 画 株式会社 LIXIL

会 場 LIXIL ギャラリー

観 覧 料 無料

会場写真 <http://www1.lixil.co.jp/gallery/> 会期開始5日目から会場写真をご覧頂けます。

本リリースに関するお問い合わせ先

LIXIL ギャラリー (<http://www1.lixil.co.jp/gallery/>)

所在地:東京都中央区京橋3-6-18 LIXIL:GINZA 2F

広報担当:大橋 TEL.03-5250-6530

展覧会の見どころ

1. 現代を生きる人々の不安や感情に呼応する混沌とした世界観

中村 亮一はアメリカ同時多発テロ事件を目にして以来、混沌とした世界観、不穏な空気感、暗闇の風景を繰り返し描いてきました。近年の代表作である「Japan」(2011)は、画面いっぱいにモノが散乱し、遠方には火事のような炎、真っ赤な空、そして「NO」の文字が描かれ、視界に映る色鮮やかな明るさと裏腹に、大惨事を拒絶しているような不穏で不思議な光景を描いた長さ 1800mm×4500mm の大作です。

また、ベルリン滞在期に描いた自然やジェンダーをモチーフにした「Paradox」シリーズ(2009)や、人形の頭を寓意的に描いた「王冠/Crown Doll」シリーズ(2008)などの作品は、力強く説得力のある具象的な描写と全体に漂う不穏な空気感が特長で、同時代に生きる人々の不安や感情に呼応し、多くの人々の心を捉えてきました。

2. 残酷なモチーフをテーマとしながら、温かい視線で描かれる家族像

中村 亮一の近年の作品のもう一つのモチーフとして、家族の姿を描いたシリーズがあります。3歳年上の姉との幼少期の思い出を描いた、「Memories」(2011)には「Japan」(2011)や「Paradox」シリーズ(2009)に描かれる混沌とした世界観とは反して、甘い雰囲気が漂います。落とし穴や髪の毛をひっぱるなど子どもたちのいたずらをテーマに扱いながら、無垢で屈託のない明るさが印象的です。暗いモチーフを扱いながらもどこか優しい、愛情とユーモアを感じさせる由縁は、中村 亮一の家族の姿を見つめる温かい視線にあります。また、グラフィックスやマンガのような数字、文字、吹き出しによる言葉を、具象的な描写と合わせる独特の表現は、現実を夢物語のように見せる役割を果たしています。

3. 「3.11」シリーズ新作公開

東日本大震災が起こった後、中村はひとり福岡に滞在します。継続する惨事への恐怖、家族や友人の心配、自分だけ避難したことに対する罪悪感に苛まれたと話します。被災地から遠い福岡の自然の美しさも印象的に映りました。今展ではこの時の体験から、爆発のかたちにフレーミングしたキャンバスに描かれた新作「3.11」シリーズの4点を中心に、6点で構成した展示を行います。若い作家が描く復興へ向けた未来の物語をご覧ください。

4. 作家略歴

中村 亮一 (Ryoichi Nakamura)

1982 東京生まれ
2006 KHB ベルリン・バイセンゼー芸術大学、カテリーナグロス教授、聴講生
2002 東京造形大学 入学(2004年 自主退学)
1998 国際交流基金、交換留学プログラム、ベルリン市派遣

個展

2012 Niche Gallery(東京)
2011 第4回アーティクル賞 グランプリ, ターナーギャラリー(東京)
2009 Gallery 156(東京)
2005 Gallery Rodolfo. Art en laboratorio(ベルリン)
2004 ディーゼル デニム ギャラリー アート エキシビジョン(東京-大阪)
2004 La Girafa(ベルリン)

主なグループ展

2012 "Spring Fair", ギャラリー 椿(東京)
2011 "The Color of Future", ターナーギャラリー Curator: 蛸川千春 Organizer: ターナー色彩株式会社(東京)
"Japan Congo", Garage Center for Contemporary Culture (モスクワ)
"第4回アーティクル賞 入選者展覧会", ターナーギャラリー(東京)

- 2009 "Somebody", Lunch Project Curator: Lyla Rye Organizer: Toronto School of Art(トロント)
2008 "Psycho", Gallery Waschhaus (ベルリン)
2007 "中村亮一 & Melissa Steckbauer", Gallery Waschhaus (ベルリン)
"Smash", Gallery Waschhaus (ベルリン)
2006 "中村亮一 & 松崎宏史", Gallery Waschhaus (ベルリン)
ギャラリーアーティスト+ 招待作家. Gallery Birthe Laursen (コペンハーゲン)
2005 "中国・日本・韓国", Gallery Rodolfo (ベルリン)
2004 ABC kunstservice (ベルリン)
"Isst du gerade meinen Tofu?", Backfabrik Organizer: Hsiu-Ling Chi, Eri Kawamura, Erika Magnusson, Lisa Schreiber (ベルリン)
2003 "肖像画", La Girafa (ベルリン)

アーティストインレジデンス

- 2009 トロントアートスクール. Independent Summer Residence. (トロント)

アワード

- 2011 第4回アーティクル賞 グランプリ(東京)

同時開催

- 巡回展 「山と森の精霊 高千穂・椎葉・米良の神楽 展」12月6日(木)~2013年2月16日(土)
ギャラリーセラミカ 「後藤 あこ展」(インスタレーション) 12月4日(火)~25日(火)

次回予告

- 現代美術展 「鈴木 基真展」(立体) 1月8日(火)~1月29日(火)
ギャラリーセラミカ 「神谷 麻穂展」 1月10日(木)~2月2日(土)